



只見町長  
菅家 三雄

# 公正な行政と対話型の 町づくりを目指して

明けましておめでとうございませう。平成二十九年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は、昨年十一月の町長選挙におきまして、町民の皆様方をはじめ、多くの方々から暖かいご支援を賜り無投票当選の榮に浴し町政を担うこととなり、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。皆様からお寄せいただいた信頼と期待に応えるべく新たな決意と情熱を持って町政執行に取り組む覚悟であります。

さて本町は、急激な人口減少の進行により、少子高齢化の波は年々激しさを増し、地域活力の低下が進んでおります。

子育て支援等の福祉サービスや産業の振興をはじめとした地域経済対策、行財政改革を行い、町民の皆様に安心して暮らしていただけるまちづくりをひとつひとつ着実に進めること、そして自然豊かな只見町に誇りを持ち次世代に引き継いでいくことが私の大きな役割と認識

し「公正な行政」と、将来を見通した「対話型のまちづくり」を基本として取り組んでまいります。

その第1は、住民と行政が協働する町づくりであります。まちづくりには、住民の皆様が積極的な参画が必要と考えます。地域のことはそこに住む人達が決め、そして行動することが大切です。つきましては、行政情報を共有し民意が反映される体制づくりに努めてまいります。

第2は、自然や環境と共生する町づくりの推進であります。ユネスコエコパークに登録された個性豊かな環境を活かして農林業、観光等のブランド化を図っていくことが地域再生の鍵になるものと考えます。地域文化や自然を生かした観光資源の有効活用を図り交流人口の増加に努めてまいります。

第3は、農業、林業、商工業を大切にす町づくりであります。過疎、高齢化が進む中で耕作放棄による農地の荒廃が危惧されております。水稲、夏秋トマト、花卉等の振興に加え、新たな作物の作付けが芽生えておりますので、その基盤を支える事業展開を進め、観光産業との連

携を図り地産地消運動を推進し、国道289号八十里越開通を視野に入れた取組みを進めてまいります。併せて、農地所有適格法人、農作業受委託組織、農林業担い手の育成に努め、町内の企業と連携を図りながら雇用の確保や住宅対策も進めてまいります。

第4は、保健、医療、福祉が一体となった町づくりの推進であります。町民の皆様がいつまでも健康で過ごされ町づくりに参加をいただくことが重要と考えますので、保健、医療、福祉が連携した対策を進める必要があります。診療所医師の安定した確保を図り、福祉の里を中心にさらなる組織の連携を進め、介護予防とも併せて健康で生きがいのある高齢者施策に努めるとともに、少子化対策、障がい者福祉の増進にも取り組んでまいります。また、生活交通手段として町内及び周辺地域への交通体系の充実を検討してまいります。

第5は、教育、文化を大切にす町づくりであります。少子化が進む中、将来の只見町を担う児童、生徒の教育は重要課題であります。学力向上対策、教育環境の充

実に努めてまいります。只見高等学校の存続に向け新たな山村教育留学生の受け入れ施設が整備されておりますが、なお継続して振興対策に取り組み中高連携した教育を推進する考えであります。

本町の長い歴史の中で多くの文化が残され生きております。それは貴重な財産であります。これらの文化遺産を町民の誇りとして、学校教育や生涯学習、さらには観光面にも活かしながら、守り引き継いで行くことが大切と考えております。

第6は、公共施設の整備計画であります。まずは役場庁舎であります。仮移転、施設整備と課題は多くあります。経過等を充分精査し、只見町の身の丈に合った施設を検討してまいります。

以上、六本の柱に基づき施策を推進してまいります。他にも様々な課題が山積しておりますので、一歩ずつ着実に改善に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えております。

結びに本年の皆様にとって素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

# 政策提案のできる 議会を目指して



只見町議会議長  
齋藤 邦夫

新年あけましておめで  
とうございます。議会を代  
表して、謹んで新年の御挨拶  
を申し上げます。皆様には、  
健やかに新春をお迎える  
のこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、  
春の町議会議員選挙、秋に  
は町長選挙が行われ、この  
度、菅家町政がスタートさ  
れました。菅家町長の今後  
のご活躍を期待いたしま  
す。議会は、町民皆様の温  
かいご指導・ご支援を頂  
き、議会活動に精励できま  
した。ここに改めて厚く御  
礼を申し上げます。

国外に目を向けると、米  
大統領にトランプ氏当選、  
英国民投票でEU離脱決  
定、政治経済の混乱、テロ  
や紛争が続ぎ、地球温暖化  
と異常気象による自然災  
害等も多発しました。

一方、大隅良典東京工業  
大学教授のノーベル医学  
生理学賞の受賞は、明るい  
ニュースで、オートファ  
ジーの解明は、癌や感染症  
対策に繋がる快挙であり  
ます。

国内では、天皇陛下生前  
退位のお気持ち表明、オバ

マ大統領の広島訪問、日銀  
のマイナス金利導入があ  
った他、熊本地震や東日  
本大震災による原発事故  
の影響が残り、今なお多く  
の方々が厳しい生活を余  
儀なくされています。ま  
た、選挙権年齢が十八歳以  
上となり、参議院議員選挙  
では、積極的な経済政策の  
継続を掲げて与党が大勝  
し、国民生活に直結する年  
金法の改正、医療保険制度  
の見直しが行われました。

さて、JR只見線につい  
て、福島県と地元自治体が  
検討会を開き、鉄道で復旧  
させる方針を決定し、「上  
下分離」方式が採用される  
こととなりました。地元負  
担の軽減を図るため、鉄道  
軌道法の改正を国に要請  
しているところでありま  
す。また、本町の道路交通  
網の大動脈として、国道二  
八九号の全線開通と併せ  
て、入叶津・只見間のトン  
ネル化や駅前中心市街地  
整備、更には、町内を横断  
する基幹道路の整備が急  
がれます。

一方、只見振興セン  
ター、奥会津学習センター  
建設は、予定通り完成の見

込みです。役場庁舎の建設  
は、極めて遺憾の結果とな  
りましたが、職員や来訪者  
の安全確保のため、速やか  
に対策を講じなければな  
りません。

本町は、少子高齢化・限  
界集落も約半数に達し  
様々な問題が生じており  
ます。第七次只見町振興計  
画の理念に基づき、町の有  
する資源の活用、ユネスコ  
エコパークによる地域創  
生と政策の厳選、将来を見  
据えた投資、町づくりの基  
盤となる集落対策など、行  
政の効率化を図り、超高齢  
化社会の中で人と自然の  
共生を目指すまちづくり  
に努めます。

昨年は、稲作、トマトな  
ど、進興作物の作柄は良好  
で増収に繋がりましたが、  
商工観光部門では、購買力  
の町外流出や原発事故の  
影響を受け、観光客の入込  
は停滞気味でした。町の経  
済活動は、インフラ整備を  
始め、関係団体との連携を  
図り、広域的な取り組みが  
要請されます。また、児童  
生徒の減少と後継者不足  
は、町の振興に大きな影響  
を及ぼし、教育環境整備と

併せて、有能な人材の確保  
と活用が課題であります。

さて、議会は、開かれた  
町政をめざし、議会だより  
の発行や議会報告会、通年  
議会制度を活かした各委  
員会活動の充実、必要に応  
じて特別委員会を設置し、  
庁舎問題や決算審査を行  
行って執行状況の審査を  
行なって参りました。議会  
は、二元代表制の下、町民  
の皆様が代わり町の事業  
や予算を決定し、当局の執  
行状況を監視する重要な  
役割と責任があります。今  
後は、議員間の政策討論を  
通じて、「政策提案のでき  
る議会」を目指して参りま  
す。

新年を迎えるにあたり、  
議会は、町当局と共に、互  
いに切磋琢磨し、只見町の  
更なる発展のため努力し  
て参りますので、町民皆様  
のご指導・ご支援をお願  
いいたします。

結びに、本年が皆様方に  
とりまして素晴らしい、幸  
多い年となりますことを、  
心から祈念して新年の挨拶  
といたします。